

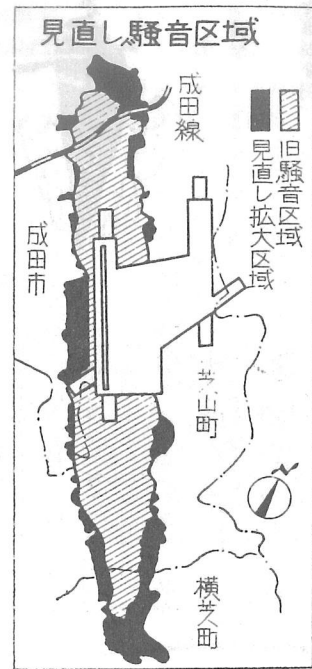
民家防音、新たに91戸

1種区域に遠山、姥山など



▲防音工事が実施された家屋(中台)

成田空港の見直し騒音区域が七月十日、運輸省によって告示された。新たに遠山三十八戸、姥山二十八戸、中台二十五戸の計九十一戸が民家全室防音工事の対象となる第一種騒音区域に編入されました。新しい騒音区域は「W E C P N L(うるささ指数)85」を基準にした五十一年一月告示の旧区域に比べると、第一種騒音区域だけ「W E C P N L 80」まで拡大されたのが特徴で、拡大されたのは当町で



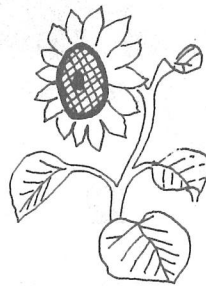
は二百二十四ヘクタール、九十一戸(全区域計三百二ヘクタール百四十七戸)です。この見直しによって、当町の騒音区域は、滑走路南端から一・三kmだったものが、二・八kmに延長されることになりました。公団側では、今回の区域拡大について「見直し線引きは水路、道路など自然境界を基準にし、地元要望も十分くんだ。とくに地区や集落の分断を慎重に避けた」と出来映えに満足げだったようですが町側では、一応の評価はしたものの、まだひどい騒音に悩まされている地域もあるため、環境基準(W E C P N L 75)未達達成を早期に実現してくれるよう、さらにはより強く国・公団に要請しています。なお、公団では、今月中にも町当局と編入された各部落に伺い、防音工事に関する説明会を開く予定でいますので、対象となった方は連絡を受けましたら、必ずご出席下さるようお願い致します。



見直し、前向きで歓迎

伊藤喜市さん(遠山)

開港以来、ひどい騒音に悩まされてきましたが、今回の見直しによって私たちの部落が入ったというところに、まずは前向きで歓迎したいですね。今後は早急に防音工事が実施されるよう要望します。また、この土地にいる限り、未だまで騒音公害に悩まされるので、その見返りとして、成田用水からの引水(畑かん)や農道の整備など



民防、みんなで研究して

伊藤唯一さん(中台)

私の家では五月末に防音工事が終わりました。遮へいサッシ、空調機の取り付け、そして天井板の上にガラスウールの繊維を乗せたのがその主な内容ですが、遮音効果は相当あるようです。私は、個人で設計や業者と契約したりするのが面倒でしたから、すべて防音協会に一任しました。業者もよくやってくれ、一応の満足はしていますが、一か所、敷居を下げずに防音遮へいサッシを取

